

# 令和5年度 岩見沢市施策評価シート

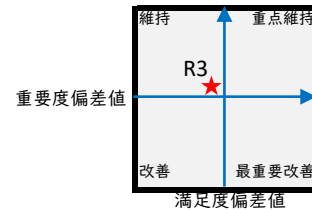
基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	評価結果	
基本施策	1	<b>子ども・子育て支援の充実</b> 結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。		
担当課	福祉課、健康づくり推進課、医療年金課、子ども課、図書館			

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (H30⇒R3)
満足度	17.9	17.3		12位/32施策⇒13位/32施策
重要度	0.493	0.508		10位/32施策⇒17位/32施策
改善度	2.97	-2.19		13位/32施策⇒20位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	評価
出生数	428人 (H29)	↗	出生届が提出された子どもの人数	376人	372人	320人	300人	D
子育てに関する相談件数	489件 (H28)	↗	えみふる構成部門が連携して対応した子育てに関する相談件数	437件	312件	184件	196.0	B★
子育て支援センターの利用親子組数	1,458組 (H28)	↗	子育て支援センター事業に参加した親子の数(延人数)	1,156組	530組	505組	563組	B★
乳幼児健康診査受診率	96.3% (H28)	↗	乳幼児健康診査対象児のうち、受診者の占める割合	98.0%	97.6%	98.2%	97.8%	C
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 A:現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 D:現状値及び昨年度ともに低下				成果指標評価		2.3	B	

※★印は、コロナの影響後、現状値水準まで回復に至っていないため、変則的な評価を行っています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査における「満足度」は相対的に中程度にあり、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」も中位に位置している。改善度は比較的高く、これまで以上に施策の推進が求められる。</li> <li>・不妊・不育症治療費助成制度利用者のうち、R4年度で16人が妊娠届を提出され、4人が出産に至った。一定の効果がみられるものの、出生数の改善には至っていない。長引くコロナの影響をはじめ、晩婚・晩産化や養育費等の経済面における不安視、若年層の転出超過など、様々な要因が複雑に絡み合っていると思われる。</li> <li>・えみふる構成部門が連携して対応した子育てに関する相談件数は、コロナ禍による行動変容に加え、保健センターを介さずに子育て総合センターに直接相談する方が増えたほか、少子化や早期就園、早期療育による相談の終了などにより、連携件数が減少した。</li> <li>・子育て支援センターの利用親子組数は、早期就園の増加やコロナ禍により利用者が減少。コロナ禍による影響減は回復しつつあるものの、現状を大きく下回っている。</li> <li>・乳幼児健診については、広報のみならず各健診の案内を個別通知をすることで受診勧奨につながり、親自身の受診することの意識の高さもあると考える。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各健診において支援が必要な親や児のスクリーニングを実施し、また、他機関とも協力しながら支援をすることができ、引き続き受診が維持できるように努めていく。</li> <li>・子育て支援センター事業やひなたっ子の運営にあっては、子育て中の家庭が、悩みや不安の解消と気軽に相談できる環境づくりの推進の観点から、感染対策を徹底し開所した。子育て相談や子育て支援センターを利用する親子はリピーター利用が多い現状があるものの、長らく続く少子化の影響を受けている印象がある。</li> <li>・ファミリー・サポート・センター事業については、制度が周知されてきたことにより、会員数が増加したほか、コロナ禍にあるにも関わらず、援助活動は一定のニーズがあり病児保育事業との一体的な周知により依頼会員が増加したほか、病後児保育については、ファミリー・サポート・センター事業で実施し、保護者の子育てと就労の両立を支援した。</li> <li>・令和2年度から「ひとり親家庭児童修学援助金」について制度周知の方法を対象への直接案内送付に切り替えたことにより、応募定員を超える申込を受け助成するなど、ニーズに適切に対応している。</li> </ul>
-------	--

現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のなか、子育て家庭の不安やストレスを軽減し、拠りどころの機能として、3歳以下の子どもをもつ家庭が気軽に遊びや相談ができる環境として、地域親子ひろばや地域子育て支援センターなどの環境維持や行事等の推進に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
-------	--

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を講じながら、乳幼児健診を実施するとともに、未受診者についても引き続き受診勧奨を行う。</li> <li>・えみふるの核施設であるあそびの広場の利用が、各部門の相談支援のきっかけとなることから、市内利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに取り組んでいく。また、あそびの広場に導入した新規遊具や教室事業の充実により、市内利用者のリピート率の向上を図る。</li> </ul>
--------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
子どもの医療助成事業 【医療年金課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数 就学前児童 R1:45,607件 R2:34,360件 R3:36,034件 R4:34,315件 小学生 R1:36,422件 R2:30,292件 R3:30,433件 R4:31,987件 中学生 R1:42件 R2: 46件 R3:47件 R4:19件</li> </ul>	A	B	B
ひとり親家庭支援事業 【福祉課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・父子自立支援員相談対応件数 延べ480件</li> <li>・母子家庭等自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金16人</li> <li>・ひとり親家庭児童修学援助金 25人</li> </ul>	B	A	A
不妊・不育症治療費助成事業 【健康づくり推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定不妊治療費助成 33件（助成額2,864,733円）</li> <li>・一般不妊治療費助成 17件（助成額 604,381円）</li> <li>・不育症治療費助成 0件（助成額 0円）</li> </ul>	B	A	A
母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳交付数322人・母親学級受講数55人・ペア（両親）学級受講数114人</li> <li>・乳幼児健康診査（股関節脱臼検査含む）受診数1,663人・フッ素塗布受診数288人</li> <li>・新生児聴覚検査受診数303人・産後ケア利用数 11人・訪問指導数427人・健康教育人数409人・健康相談人数227人</li> </ul>	B	B	B
子ども・子育て支援事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前産後ヘルパー事業 登録68名、利用209回</li> <li>・子育て短期支援事業 利用延日数16日</li> <li>・子育て支援夜間看護等事業 利用延日数2日</li> <li>・こどもサポートセンター「いま、ここ」が運営するファミリーサポートはおはおに業務委託し実施。</li> <li>・援助活動件数411件、依頼会員269名、提供会員57名</li> <li>・保育サービス講習会を6月と11月（中止）に開催</li> </ul>	A	A	A
子育て総合支援センター事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て総合支援センター事業に参加した親子の数（延組数）563組</li> <li>・子育て総合支援センター事業 おしゃべりルーム468組977人、小児科医による子育て相談0回、リフレッシュ支援事業11組11人、ベビーマッサージ講習会29組60人、パパといっしょ17組37人</li> <li>・子ども発達支援センター事業 発達相談支援件数 493件</li> <li>・つどいの広場事業 ひなたっ子193回9,301人・えみふる相談支援連携件数196件</li> </ul>	B	B	B
あそびの広場運営事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 市内 11,741人 市外 28,579人 団体利用者2,784人 計43,104人</li> </ul>	A	A	A
児童厚生施設運営事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数 144,228人</li> <li>内訳（幼児 972人 小学生134,463人 中学生1,397人 高校生245人 大人7,151人）</li> <li>・児童館等地域見守り事業（おはようキッズ事業）登録者641人</li> </ul>	B	B	A
青少年対策事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年センター運営委員会 開催2回</li> <li>・街頭補導活動 街頭補導79回 延人員235人</li> <li>・環境浄化モニター活動 モニター活動11回</li> <li>・青少年センターだよりの発行 2回</li> <li>・広報誌「ふれあい」の発行 2回</li> </ul>	B	B	B
青少年育成事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の主張岩見沢大会 中学校9校15人 ・子ども発明工夫展 小学校10校33人</li> <li>・炭鉄港ツアー31人 わくわく子どもデイキャンプ 20人</li> <li>・地域子ども会野球大会 77人</li> <li>・子ども書初大会 60人 ・子どもかるた大会 中止</li> </ul>	A	A	B
留守家庭児童対策事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館のほか、公共施設や小学校、地域施設等の計20カ所において、放課後児童クラブを設置し運営した。</li> <li>・小学校1年生までから6年生までの登録児童数（R5.3月末現在） 1,147人</li> </ul>	A	A	B
栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。</li> <li>定員：1号認定15人、2号3号認定45人。</li> <li>入園状況：1号認定6人、2号3号認定33人（R4.4.1現在）</li> </ul>	A	A	B

保育所入所運営事業 【子ども課】	保育所:公立1(定員90人)法人立11(定員780人)、認定こども園:公立1(定員60人)法人立2(定員177人)、小規模保育所:私立4(定員76人) 計19施設(定員1,183人) 第3子以降保育料無料化に加え、第2子保育料無料化(同時入所の場合)に取り組むとともに、保育所を利用するすべての家庭の負担軽減のため、保育料の減額・細分化を実施。	A	A	A
---------------------	---	---	---	---

### 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
病児保育運営事業 【子ども課】	病気の回復期に至らない子を専門施設で保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援。 登録児童数(R5.3月末現在):89人 利用児童延べ人数(R5.3月末現在):病児保育88人	A	A	B
保育・教育人材確保事業 【子ども課】	保育士又は幼稚園教諭の人材を確保するために必要な経費の一部について補助を実施。 交付実績:保育所3園、計5人分 幼稚園2園、計4人分	B	B	B
幼稚園入所運営事業 【子ども課】	幼稚園:法人立5(定員765人)、入所人員569人(R4.4.1現在) 令和元年10月から、子ども・子育て支援法の改正により満3歳から5歳までのすべての子どもの保育料が無償となった。	A	A	A
ブックスタート事業 【図書館】	・令和5年3月までのブックスタートパックの贈呈数 301組(配布率98%) ・3歳未満乳幼児への読み聞かせ会「ベビカフェ」開催 年3回 ・絵本の読み聞かせ 本館 月3回、来夢21 月1回、北村学習交流館 月1回	A	A	A
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		事業評価		3.6 A

### 事務事業一覧

(単位:千円)

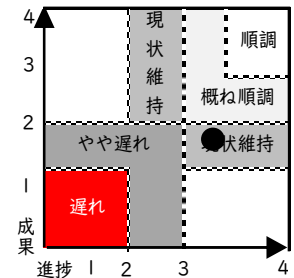
事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		R2実績	R3実績	R4実績
1 子どもの医療助成事業 【医療年金課】	子どもの健康増進、子育て世帯の経済的負担の軽減のため、子どもの医療費の助成を北海道の基準に加えて、市独自施策として拡充して実施。	147,320 (2.0人)	152,974 (2.0人)	155,216 (2.0人)
		161,720	166,974	169,416
2 ひとり親家庭支援事業 【福祉課】	ひとり親からの各種相談に対して、母子・父子自立支援員による適切な助言指導を行う。また、就業支援、経済的支援策として母子家庭等自立支援給付金事業及びひとり親家庭児童修学援助金の給付を実施し、ひとり親家庭の経済的・精神的自立の促進を図る。	13,094 (0.0人)	21,143 (0.0人)	24,925 (0.0人)
		13,094	21,143	24,925
3 児童手当等給付事業 【福祉課】	家庭生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成のため、ひとり親家庭の生活の安定と自立、児童福祉の増進のため、児童手当及び児童扶養手当を支給するとともに、経済的困難を抱える妊産婦について、助産施設入所に係る費用を負担し援護する。	1,258,704 (3.0人)	1,207,463 (3.0人)	1,144,014 (3.0人)
		1,280,304	1,228,463	1,165,314
4 子ども・子育て支援事業 【子ども課】	「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づき、ショートステイ、トワイライトステイや産前産後ヘルパーなどの事業を実施することにより、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりを行う。また、令和2年度から令和6年度を計画期間とする「第2期子ども・子育てプラン」を実施する。	15,218 (2.0人)	9,722 (2.0人)	12,517 (2.0人)
		29,218	23,722	26,717
5 子育て総合支援センター事業 【子ども課】	子育て支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター事業を推進し、関係機関と連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。	19,362 (4.0人)	18,933 (4.0人)	19,880 (4.0人)
		48,162	46,933	48,280
6 あそびの広場運営事業 【子ども課】	子どもの成長に応じた安全な遊び場を提供し、子どもの心身の発達を促すとともに、市民に安心して子育てをすることができる環境及び子どもを中心とした交流の場を提供する。	31,919 (1.0人)	34,714 (1.0人)	31,699 (1.0人)
		39,119	41,714	38,799

7	不妊・不育症治療費 助成事業 【健康づくり推進課】	赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を助成し、安心して妊娠、出産できるよう支援する。	6,943 (0.0人)	6,655 (0.0人)	3,469 (0.0人)
			6,943	6,655	3,469
8	ふれあい子どもセンター運営事業 【子ども課】	市内に認可保育所等は18か所あり、唯一の公立保育所として、保育を必要とする児童に特別保育事業を取り入れながら保育を行う。	41,399 (4.0人)	39,784 (3.0人)	44,927 (3.0人)
			69,399	60,784	66,227
9	栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。 定員：1号認定15人、2号3号認定45人。	64,646 (0.0人)	60,625 (0.0人)	63,530 (0.0人)
			64,646	60,625	63,530
10	保育所入所運営事業 【子ども課】	市内11か所の法人立保育園、2か所の法人立認定こども園、4か所の地域型保育事業に係る保育所入所運営費の負担。法人立保育園の整備振興を図るため、借入れた整備資金の当該年度中に支払いを要する元金及び利子に対し予算の範囲内で補助金を交付する。障害児保育、障害児保育特別対策、延長保育、休日保育、一時預かり保育の実施。	1,550,305 (3.0人)	1,689,843 (3.0人)	1,558,310 (3.0人)
			1,571,905	1,710,843	1,579,610
11	特別保育所運営事業 【子ども課】	へき地の保育に欠ける児童に対し、必要な保護を行うため、へき地保育所を運営する。岩見沢市へき地保育所条例に基づく運営～北村中央保育所、北村幌達布保育所、美流渡保育所	48,132 (3.0人)	43,145 (3.0人)	46,664 (2.0人)
			69,732	64,145	60,864
12	病児保育運営事業 【子ども課】	【病児保育】児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所：岩見沢市立病児保育施設》	17,039 (0.0人)	17,165 (0.0人)	10,462 (0.0人)
			17,039	17,165	10,462
13	子育て施設等利用給付事業 【子ども課】	幼児教育・保育の無償化に伴い認可外保育施設等を利用する保護者に対して、施設等利用費の負担をする。	21,977 (0.0人)	24,664 (0.0人)	23,786 (0.0人)
			21,977	24,664	23,786
14	保育・教育人材確保事業 【子ども課】	岩見沢市への就職をすすめるため、保育士、幼稚園教諭に対して就職準備金を支給し、人材の確保と幼児教育・保育の質の維持向上を図る。	2,000 (0.0人)	1,600 (0.0人)	1,800 (0.0人)
			2,000	1,600	1,800
15	児童厚生施設運営事業 【子ども課】	地域の子育て支援拠点として、児童に健全な遊びを提供し、心とからだの健康を育むことができるよう、市内13児童館等の運営を行う。保護者の就労を支援するため、早朝の見守りが必要な留守家庭児童を受け入れする「おはようキッズ事業」を実施する。	65,531 (1.0人)	74,253 (1.0人)	70,957 (1.0人)
			72,532	81,253	78,057
16	母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	妊婦から乳幼児期までの母子の健康管理と異常の早期発見並びに健全育成のため、健康診査、健康教育、家庭訪問を実施。	38,349 (4.5人)	34,713 (4.5人)	34,150 (4.5人)
			70,749	66,213	66,100
17	幼稚園入所運営事業 【子ども課】	市内5か所の私立幼稚園及び市外3か所の私立幼稚園（岩見沢市の児童）に係る幼稚園入所運営費の負担。在園児のための幼稚園終了後の預かり保育の実施。	496,287 (0.0人)	496,955 (0.0人)	473,740 (0.0人)
			496,287	496,955	473,740
18	青少年対策事業 【子ども課】	青少年センターが中心となり、街頭補導活動や環境浄化モニターによる巡回活動を行い、子どもの健全育成と非行防止を図る。	5,376 (0.0人)	5,326 (0.0人)	7,364 (0.0人)
			5,376	5,326	7,364
19	青少年育成事業 【子ども課】	青少年が健全な思考や判断力を持ち、将来自らの意思で自立し、社会参加していくことができるよう各種事業を通じて健全育成を図る。	2,839 (1.0人)	3,357 (1.0人)	3,450 (1.0人)
			9,839	10,357	10,550
20	留守家庭児童対策事業 【子ども課】	児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。	119,934 (1.0人)	123,341 (1.0人)	124,370 (1.0人)
			126,934	130,341	131,470
21	ブックスタート事業 【図書館】	全ての赤ちゃんへ絵本等のブックスタートパックを贈るほか、読み聞かせや絵本の紹介などのフォローアップ事業を行い、乳幼児と保護者の情操を育む。	1,486 (1.0人)	1,297 (1.0人)	1,227 (1.0人)
			8,686	8,297	8,327

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和5年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	評価結果
基本施策	2	<b>学校教育の充実</b>	
	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。		
担当課	学校教育課、指導室、学校給食課、緑陵高等学校		



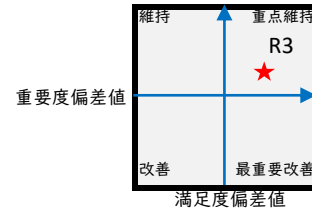
**外部評価対象施策**

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (H30⇒R3)
満足度	20.4	18.3		10位/32施策⇒10位/32施策
重要度	0.527	0.531		6位/32施策⇒9位/32施策
改善度	4.68	0.14		10位/32施策⇒17位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	評価
全国学力・学習状況調査の平均正答率(小・中学校別)	※1 (H29)	↗	全国学力・学習状況調査の平均正答率	※4	※6 中止	※8	※10	C
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価(小・中学校別)	※2 (H29)	↗	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価のC以上の割合	※5	※7 中止	※9	※11	C
不登校の児童生徒の割合(小・中学校別)	※3 (H28)	↘	在籍児童生徒のうち、明確な理由がなく年間30日以上欠席した児童生徒の割合	小 0.7% 中 4.2%	小 1.0% 中 4.4%	小 1.3% 中 6.4%	小 1.7% 中 7.5%	D
※1:小～国語 A75%B56%・算数 A79%B46%、 ※1:中～国語 A77%B72%・数学 A67%B49% ※2:小(男 67.8%・女 70.3%)、中(男 56.3%・女 70.4%) ※3:小 0.3% 中 2.5% ※4:小～国語 65%・算数 65% ※4:中～国語 75%・数学 60% ※5:小(男 70.7%・女 78.4%)、中(男 59.0%・女 73.1%)				※6:新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止(全国) ※7:新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査中止(全国) ※8:小～国語63%・算数68% ※8:中～国語66%・数学59% ※9:小(男 60.7%・女73.8%)、中(男 65.0%・女子 74.7%) ※10:小～国語66%・算数63% ※10:中～国語69%・数学51% ※11:小(男 63.1%・女67.1%)、中(男 62.4%・女子 74.1%)				
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 A:現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 D:現状値及び昨年度ともに低下				成果指標評価		1.7		C

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査における「満足度」は相対的に高く、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は比較的高く、これまで以上に施策の推進が求められる。</li> <li>・全国学力・学習状況調査では、小学校・中学校ともに国語の数値は上昇したが、算数・数学は低下した。特に、中学校数学における下降が大きく授業改善が喫緊の課題である。</li> <li>・体力については、小学校男子で上昇したものの、小学校女子、中学校男女では低下した。日常的に運動に親しむ活動等の推進が必要である。</li> <li>・不登校の児童生徒の割合は、年々増加傾向にあるため、全児童生徒を対象とした発達支持的な生徒指導の充実が必要である。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力については、「教えて考えさせる」授業スタイルを基盤とした子どもと創る授業をすべての学校で実践し、授業の質的転換が図られてきた。</li> <li>・体力については、教育研究所による分析・考察を経て、各校の体育の授業の改善に努めた。また、自己の昨年度の記録等を超えられるように、体力カードを全児童生徒に配付した。さらに、希望した学校については、北海道教育大学岩見沢校の教授等による出前授業を行い、児童生徒の運動への興味関心を高めるとともに、専門性の高い指導を展開することができた。</li> <li>・登校支援室には52名の児童生徒が通っていたが、およそ40%が学校復帰した。また、登校支援室に通っていたすべての中学校3年生が高等学校へ進学した。</li> <li>・登校支援室による通室児童生徒の保護者を対象に、保護者のネットワークを構築し、3回の茶話会を開催した。</li> </ul>
-------	--

現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」を確実に習得させ、「思考力・判断力・表現力等」や、自ら学習を調整しながら粘り強く「学習に取り組む態度」を育成していく必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響による学級閉鎖や体を動かす機会の減少により、無気力や不安等による不登校の増加や体力の低下が起きている。</li> <li>・不登校の児童生徒の割合が年々増加傾向にあり、喫緊の課題である。学校へ行けない理由は、家庭環境も含め多様化・複雑化しており、子どもが抱える課題に応じ、寄り添った丁寧な対応が必要であり、教育支援センター専門職の充実など適切な支援を提供できる体制の整備が求められる。</li> </ul>
-------	---

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力については、学校間格差、教師間格差、地域格差をなくすため、「教えて考えさせる授業」の理念を基盤とした身につけさせたり資質・能力を明確にした「子どもと創る授業」づくりにより、主体的・対話的な深い学びを実現し、学力向上を目指していく。</li> <li>・体力については、年間を通じて縄跳びやマラソン等に取り組む活動を企画し、日常的に運動に親しむ活動を確保していく。また、体育専科教員による効果的な指導方法等についての発信の場を設け、市内教職員における体育科の指導改善につなげていく。</li> <li>・登校支援室が積極的に保護者に働きかけられることができるよう、不登校の児童生徒を抱える保護者の組織化に取り組んでいくほか、教育支援センターの人員体制の充実やアウトリーチの強化に向けた取組を進めていく。</li> </ul>
--------	---

### 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価																								
		達成度	有効性	効率性																						
ICT教育推進事業 【学校教育課/指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末は学習道具の1つという認識で、教育活動のあらゆる場面で積極的に活用された。</li> <li>・ICTを活用した授業・学習を促進するため、英語科のデジタル教科書を配備した。</li> <li>・ICT教育を促進するため、端末の持ち帰りを開始した。</li> <li>・市教育研究所の情報部会の教員を講師としたICT活用に関する研修講座を2回開催し、延べ58名の参加し、日常の授業に生かせる操作を習得した。</li> <li>・教職員の情報活用能力アンケートにおいて、すべての項目で高い数値を維持または前年度よりも上昇した。</li> </ul>	B	A	B																						
学び・心はぐくむ学校活動支援事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校が企画・立案した事業に対し補助金を交付</li> <li>・教職員の資質や指導能力の向上のための講師招聘等：13件(203万円)</li> <li>・外部人材を活用した授業支援や放課後学習：15件(95万円)</li> <li>・技術支援を必要とする事業の実施(ボランティア費用):39件(138万円)</li> <li>各小中学校へ授業支援等の地域ボランティア派遣 延べ8,001名</li> </ul>	B	B	B																						
特別支援教育推進事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場において、市内小中学校に27名の特別支援教育支援員と1名の学校看護師を配置し、個に応じたきめ細かい指導を行った。</li> <li>・特別支援コーディネーターや特別支援員を対象とした研修会を開催し、各校の取組の交流や教育支援センターや北海道立特別支援センターの職員による講話等を行い、特別支援教育への理解を深めた。</li> </ul>	B	A	B																						
教育指導振興事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校における管理職、ミドルリーダー、若手教員を対象とした研修を、それぞれ8~9回実施し、教員のキャリアステージに応じた資質・能力の育成を図った。</li> <li>・学校教育指導員によるピア・サポートの授業・研修会を15回実施し、ピア・サポートは、すべての教育活動の土台となるものであるという意識がより一層広がりをみせた。</li> </ul>	B	A	B																						
コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの中学校区に1つに学校運営協議会を設置することで、義務教育9年間を切れ目なく支援する意識が根付いた。</li> <li>・学校と地域の方がともに、登校時の見守り運動、防災訓練、お祭りの企画・運営、ゴミ拾い、ふるさと教育等を行い、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の具現化が行われた。</li> </ul>	B	A	B																						
外国語指導助手活用事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校及び緑陵高校にALT9名配置</li> <li>・中学校区でできるだけ同じALTが担当できるように、検討のうえ再配置を行った。</li> </ul>	B	A	B																						
教育支援センター事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センターへの相談件数は901件あり、多様化する相談に専門的な知見のもと対応した。</li> <li>・不登校児童生徒の親の会として、3回の懇親会を実施し延べ5名の参加があった。</li> <li>・登校支援室来室者52名に支援を行った。そのうち、中学3年生13名全員が高校への進学を果たした。</li> </ul>	A	A	B																						
学力向上対策事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜学習会は市内中学生241名参加、英検学習会は3級対策12名、4級対策29名の参加した。周知方法の工夫や対面に加えオンデマンド配信を始めたことにより、受講者が大幅に増加し、多くの生徒の基礎学力の向上や英語検定の取得を支援した。</li> <li>・土曜キッズ英会話 全19回実施し、延べ434人の参加があった。</li> </ul>	A	A	B																						
教育研究所運営事業 【指導室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査をはじめとした、4つの調査の分析を行い、全校へ指導・助言した。</li> <li>・4つの研究部会を開設し、今日的な教育課題の解決を図る研究・指定事業の推進を行い、その成果を全校へ発信した。</li> <li>・市内教職員を対象とした12の講座を開催し、課題・対策の共有を通じ資質向上を図った。</li> </ul>	B	A	B																						
<p>●重点事業の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点</p> <table border="0"> <tr> <td>【達成度】</td> <td>【有効性】</td> <td>【効率性】</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">事業評価</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">3.4</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> </tr> <tr> <td>A 十分である</td> <td>非常に有効</td> <td>改善の余地なし</td> </tr> <tr> <td>B 概ね十分である</td> <td>有効</td> <td>概ね効率が良い</td> </tr> <tr> <td>C やや不十分である</td> <td>やや有効でない</td> <td>改善の余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 不十分である</td> <td>有効でない</td> <td>大きく改善の余地あり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		【達成度】	【有効性】	【効率性】	事業評価	3.4	B	A 十分である	非常に有効	改善の余地なし	B 概ね十分である	有効	概ね効率が良い	C やや不十分である	やや有効でない	改善の余地あり	D 不十分である	有効でない	大きく改善の余地あり							
【達成度】	【有効性】	【効率性】	事業評価	3.4				B																		
A 十分である	非常に有効	改善の余地なし																								
B 概ね十分である	有効	概ね効率が良い																								
C やや不十分である	やや有効でない	改善の余地あり																								
D 不十分である	有効でない	大きく改善の余地あり																								

事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		R2実績	R3実績	R4実績
1 教育委員会運営事業 【学校教育課】	・教育委員会を開催し、教育行政方針の設定や重要案件の審議を行う。 ・教育委員会委員、教育長を対象とする各種会議に参加することにより、情報等を収集し、広域的な教育行政の推進を図る。	3,893 (2.0人)	3,825 (2.0人)	4,011 (2.0人)
		18,293	17,825	18,211
2 教育委員会事務局管理事業 【学校教育課】	・教育委員会事務局の管理運営及び教育振興功労並びに教育実践奨励賞及び教育実践児童生徒優秀賞の表彰を行う。 ・PTA連合会事務局や岩見沢育英会など教育関係団体への補助を実施	7,153 (3.0人)	7,092 (3.0人)	7,486 (2.0人)
		28,753	28,092	21,686
3 教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	高度情報通信ネットワーク社会に適応できる人材の育成を図るとともに、多様で高度な市民ニーズに応えるため、ICTを活用した教育の情報化を推進する。	19,613 (1.6人)	15,119 (1.6人)	16,151 (1.6人)
		31,133	26,319	27,511
4 ICT教育推進事業 【学校教育課/指導室】	ICTを活用した授業づくりを推進し、協動的な学びと個々の理解にあわせた個別最適な学びの充実を図るため、GIGAスクール構想に基づく一人一台の端末及びデジタル教科書を有効活用し、効果的な授業の実施に向け、ICTを活用した教育を推進する。		70,134 (0.0人)	88,925 (0.0人)
			70,134	88,925
5 教職員住宅管理事業 【学校教育課】	教職員住宅の維持管理。適時に修繕・補修を行い、教職員へ良質な住環境を提供することにより、教育の充実を図る。	17,328 (1.5人)	19,984 (2.1人)	30,731 (2.0人)
		28,128	34,684	44,931
6 学び・心はぐくむ学校活動支援事業 【指導室】	子どもが輝く岩見沢の教育づくりを推進するため、学力向上に関する取り組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。	11,068 (0.3人)	10,167 (0.3人)	9,808
		13,228	12,267	9,808
7 特別支援教育推進事業 【指導室】	心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。	45,892 (2.9人)	43,978 (2.9人)	45,326 (2.9人)
		66,772	64,278	65,916
8 特別支援教育振興事業 【学校教育課】	障がいを持つ子供達にそれぞれの障がいに応じた教育環境を整備するとともに、学用品費等の支援を行い、特別支援教育の普及奨励を図る。	13,598 (0.2人)	13,579 (0.2人)	12,966 (0.2人)
		15,038	14,979	14,386
9 教育指導振興事業 【指導室】	新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確かな定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を推進する。	6,404 (1.2人)	4,809 (1.2人)	4,708 (1.2人)
		15,044	13,209	13,228
10 コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	市内中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入促進を図る。	706 (0.1人)	1,140 (0.1人)	1,310 (1.0人)
		1,426	1,840	8,410
11 外国語指導助手活用事業 【指導室】	英語を使える児童生徒の育成を目指し、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、外国語教育及び国際理解教育の充実を図る。	35,803 (0.6人)	36,096 (0.6人)	40,136 (0.6人)
		40,123	40,296	44,396
12 教育支援センター事業 【指導室】	教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、スーパーバイザー、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。	17,799 (0.6人)	16,586 (0.6人)	16,825 (0.6人)
		22,119	20,786	21,085
13 学力向上対策事業 【指導室】	子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、土曜学習会、囲碁授業、土曜キッズ英会話、英検学習会を実施する。	3,221 (0.1人)	3,275 (0.0人)	3,358 (0.0人)
		3,941	3,275	3,358
14 教育研究所運営事業 【指導室】	岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努める。 また、市民開放、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。	16,147 (0.8人)	15,449 (0.8人)	15,853 (0.8人)
		21,907	21,049	21,533
15 小学校管理事業 【学校教育課】	児童が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることが出来る教育環境づくりを推進する。	279,955 (5.2人)	271,978 (4.2人)	284,026 (3.2人)
		317,395	301,378	306,746

16	小学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	44,910 (0.5人) 48,510	36,737 (0.5人) 40,237	39,653 (0.5人) 43,203
17	スクールバス運行管理事業 【学校教育課】	遠距離通学となる児童生徒の通学支援及び登下校の安全確保のためのスクールバスの運行を行なう。	104,866 (0.3人) 107,026	90,679 (0.3人) 92,779	73,940 (0.3人) 76,070
18	小学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、小学校における義務教育の円滑な実施に資する。	16,921 (0.7人) 21,961	17,149 (0.7人) 22,049	17,309 (0.7人) 22,279
19	児童健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、児童の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	18,041 (0.5人) 21,641	18,184 (0.5人) 21,684	17,822 (0.5人) 21,372
20	小学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	3,404 (0.2人) 4,844	3,593 (0.2人) 4,993	3,571 (0.2人) 4,991
21	小学校校舎等管理事業 【学校教育課】	小学校の施設整備、維持管理、補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実を図る。	82,118 (1.0人) 89,318	68,381 (2.0人) 82,381	160,075 (2.2人) 175,695
22	中学校管理事業 【学校教育課】	生徒が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることができる教育環境づくりを推進する。	182,198 (4.0人) 210,998	224,089 (3.0人) 245,089	226,083 (3.5人) 250,933
23	中学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	33,314 (0.0人) 33,314	30,728 (0.5人) 34,228	29,090 (0.5人) 32,640
24	中学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、中学校における義務教育の円滑な実施に資する。	19,789 (0.7人) 24,829	20,200 (0.7人) 25,100	23,365 (0.7人) 28,335
25	生徒健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、生徒の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	10,239 (0.5人) 13,839	10,104 (0.5人) 13,604	9,905 (0.5人) 13,455
26	中学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	2,176 (0.2人) 3,616	2,134 (0.2人) 3,534	2,187 (0.2人) 3,607
27	中学校校舎等管理事業 【学校教育課】	中学校の施設設備の維持管理。補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実を図る。	42,757 (1.9人) 56,437	392,120 (3.2人) 414,520	190,340 (2.4人) 207,380
28	学校給食共同調理所運営事業 【学校給食課】	衛生管理の徹底などにより安全・安心な給食を市内小・中学校23校に年間190回を基準として提供するとともに、児童生徒に対する食指導を実施。	591,181 (4.8人) 625,741	631,798 (4.8人) 665,398	627,202 (4.8人) 661,282
29	学校給食共同調理所車両運行管理事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所から市内小・中学校23校に給食を配送する配送車の運行管理を行う。	37,250 (0.2人) 38,690	45,864 (0.2人) 47,264	56,904 (0.2人) 58,324
30	特別会計高等学校費 【緑陵高等学校】	地域社会のニーズに応えるとともに、次世代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備に努めるとともに、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図る。 また、質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具の整備を図る。	116,546 (50.0人) 585,458	101,925 (48.0人) 553,555	105,688 (47.0人) 550,048

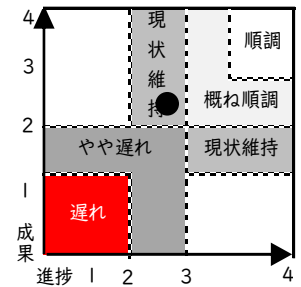
【外部評価意見】

成果指標による定量的な評価によって、施策の総合評価が左右されているため、実績値のみに着目する評価ではなく、学校現場の取組や効果が反映されるよう、定性的な評価を加えることを検討していただきたい。



# 令和5年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	評価結果
基本施策	3	<b>生涯学習の振興と社会教育の充実</b>	
	市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。		
担当課	生涯学習推進課、文化・スポーツ振興課、図書館		

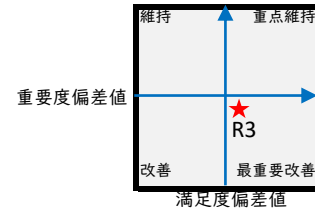


## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (H30⇒R3)
満足度	17.7	15.4		13位/32施策⇒17位/32施策
重要度	0.482	0.528		13位/32施策⇒10位/32施策
改善度	1.94	2.49		14位/32施策⇒13位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	評価
市民大学及び高齢者講座の参加者数	270人 (H28)	↗	市民大学及び高齢者講座を受講した人の実数の合計	261人	38人	48人	108人	B★
生涯学習センター「いわなび」利用者数	128,144人 (H28)	↗	生涯学習センター「いわなび」を利用した人の合計	112,099人	55,126人	57,909人	81,895人	B★
市民1人当たりの図書貸出冊数	4.78冊 (H28)	↗	本館等の4図書館施設における市民1人当たりの年間貸出冊数	4.82冊	3.97冊	4.25冊	3.99冊	D
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 A:現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 D:現状値及び昨年度ともに低下				成果指標評価		2.3		B

※★印は、コロナの影響後、現状値水準まで回復に至っていないため、変則的な評価を行っています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査における「満足度」は相対的に中程度にあり、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は比較的高く、これまで以上に施策の推進が求められる。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、いわみざわ市民大学は講座回数を増やし、高齢者対象講座においても規模を縮小した上で再開(R2～3年度は中止)し、講座回数、受講者数は昨年度に比べ共に増加した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による利用制限等は緩和され、平常通り開館日数を確保したが、生涯学習センターの利用者数はコロナ前の水準には至っていない。</li> <li>・コロナ禍であった前々年度から比較すると、貸出冊数及び利用者数は戻りつつある傾向がみられたが、例年値までに回復していないのは、施設が開館している、依然として新型コロナウイルスによる行動変容等の影響により利用者が伸び悩んでいることが原因である。また、冬期間の荒天時の外出控えも一因と考えられる。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわみざわ市民大学【8回、37人(延べ人数:179人)】、高齢者対象講座【8回、71人(延べ人数:92人)】</li> <li>・生涯学習センターにおいて、新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、令和2～3年は中止していた集客を図る事業を再開しており、その結果、利用者数は昨年度と比べ増加した。</li> <li>・図書館では、市民の多様なニーズに基づき計画的な蔵書整備を行うとともに、司書職員の専門性向上と地域サービス拠点の充実のほか、SNSなどの情報提供により利便性の向上を図った。また、ボランティアや市民団体、関係機関と連携し読書活動の促進や学習支援を図るなど、様々な取り組みを行った。</li> </ul>
-------	--

現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や時代の変化を踏まえ、多様なニーズに対応した学びの機会を提供するため、講座内容の充実を図り、開催方法や事業周知の仕方について改善が必要である。</li> </ul>
-------	--

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の興味・関心、環境や時代の変化に柔軟に対応した生涯学習の提供と学ぶ機会の維持向上、参加者同士の交流など、幅広い世代が生涯に渡って学び、自由かつ自主的な活動ができるよう取組みを進める。</li> <li>・図書資料の充実や、他の図書館と連携し、様々なサービスの提供に努めるほか、多様化する市民ニーズを踏まえ、利便性向上の取り組みを継続し、貸出冊数を維持する。</li> </ul>
--------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
市民の学び支援事業 【生涯学習推進課】	生涯学習センターを拠点に、幅広い世代を対象として学習機会の充実を図った。新型コロナウイルス感染症による利用制限等が緩和され、令和2～3年に中止していた事業を再開し、講座回数、受講者数は昨年度に比べ増加した。 ・いわみざわチャレンジスクール:13回、延べ人数:213人 ・いわみざわ市民大学:8回、37人(延べ人数:179人) ・高齢者対象講座:8回、71人(延べ人数:92人) ・みんなて教育を考える日:1回、48人	B	B	C
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価 2.7 C		

## 事務事業一覧

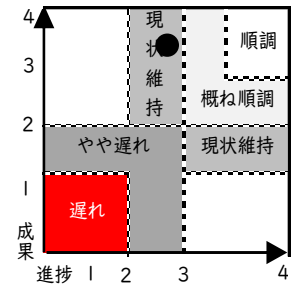
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		R2実績	R3実績	R4実績
1 社会教育委員活動事業 【生涯学習推進課】	岩見沢市社会教育委員の会議は、本市の社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるため、岩見沢市社会教育委員条例の規定に基づき設置されている。委員の定数は15名で、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。任期は令和4年3月31日までの2年間で、現委員は15名(うち2名は市民公募)。	529 (0.7人)	512 (0.7人)	491 (0.7人)
		5,569	5,412	5,461
2 市民の学び支援事業 【生涯学習推進課】	生涯学習センター「いわなび」を拠点に、生涯学習の情報発信、相談体制、指導者育成の強化に努める他、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の充実を図るとともに、学習成果を生かせる場の提供に努め、市民の学習活動を支援する。	3,141 (3.0人)	4,370 (3.0人)	7,041 (3.0人)
		24,741	25,370	28,341
3 社会教育施設整備事業 【文化・スポーツ振興課】	社会教育施設整備事業～社会教育施設の活用を検証し、施設規模や利用形態から適切な施設運営と利用者負担を検討する。 指定管理者制度導入事業～市民ニーズの効率的、効果的な対応と行政コストの縮減のため、施設の管理・運営の形態として指定管理者制度の導入の適否を検討する。	261 (2.0人)	2,652 (0.0人)	
		14,661	2,652	
4 北村環境改善センター運営事業 【文化・スポーツ振興課】	住民のコミュニティ活動を推進し、地域住民の文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図るため、改善センターを設置し維持管理を行う。	14,468 (0.0人)	14,576 (0.0人)	14,400 (0.0人)
		14,468	14,576	14,400
5 北村学習交流館運営事業 【図書館】	地域住民の学習活動を支援する拠点施設として、図書資料を提供し学習活動及び読書活動を支援する。	1,925 (0.0人)	1,928 (0.0人)	1,893 (0.0人)
		1,925	1,928	1,893
6 北村ふるさと学習館運営事業 【生涯学習推進課】	市民の社会教育活動及び地域文化の振興を図るため、岩見沢市北村ふるさと学習館を設置し、維持管理を行う。	2,024 (0.2人)	2,087 (0.2人)	2,005 (0.2人)
		3,463	3,487	3,425
7 郷土科学館管理事業 【文化・スポーツ振興課】	教育、科学及び文化の発展に寄与する施設として、郷土資料の収集・展示やプラネタリウムの番組提供と科学等に関する事業を通じ、郷土理解や青少年の科学する心を育むとともに、関係機関と連携したパネル展など、社会的ニーズを把握しながら生涯学習の機会を提供する。	20,965 (0.7人)	29,328 (1.7人)	23,525 (0.7人)
		25,865	41,568	28,565
8 来夢21施設管理事業 【図書館】	図書館、資料館、こども館からなる複合施設の管理を行うことにより、地域住民の文化振興と子どもの健全育成及び学習活動を支援する。	9,511 (0.0人)	10,124 (0.0人)	11,138 (0.0人)
		9,511	10,124	11,138
9 生涯学習センター管理事業 【生涯学習推進課】	子どもから高齢者まで、市民の生涯にわたる学習を支援する場として、施設を維持管理する。	87,756 (0.2人)	87,933 (0.1人)	92,468 (0.2人)
		89,196	88,633	93,888
10 図書館活動運営事業 【図書館】	市内4館の図書資料の収集・管理と利便性の高いサービスの提供に努め、子どもの読書活動の推進と幅広い世代に対応した読書普及活動を実施するとともに、市立図書館の計画的な整備を図る。	90,102 (6.0人)	88,512 (6.0人)	92,338 (6.0人)
		133,302	130,512	134,938

【外部評価意見】

# 令和5年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	評価結果
基本施策	4	<b>芸術文化・スポーツの振興</b> 市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。 また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。 さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。	
担当課	企画室、文化・スポーツ振興課、生涯学習推進課		

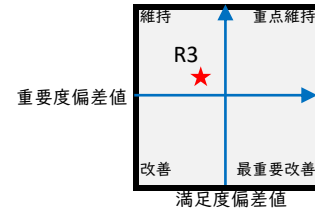


## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (H30⇒R3)
満足度	21.6	20.6		9位/32施策⇒8位/32施策
重要度	0.451	0.484		19位/32施策⇒25位/32施策
改善度	-4.33	-8.68		25位/32施策⇒26位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	評価
「市民の文化祭」の参加者数	9,175人 (H28)	↗	市民の文化祭」に出品・出演した人及び来場した人の合計	8,045	1,532人	1,474人	2,663人	B★
資料館及び指定文化財の利用者数	6,239人 (H28)	↗	資料館及び指定文化財を見学及び利用した人の合計	8,834人	3,330人	3,218人	5,328人	B★
「スポーツの日」記念岩見沢市総合体育大会の参加者数	2,692人 (H28)	↗	総合体育大会で各競技に参加した人の合計	2,843.0	1,813人	1,505人	2,974人	A
教育大との連携事業数	新規	↗	北海道教育大学岩見沢校と市との連携事業数	18	10	10	11	B
●成果指標の評価を4区間で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 A:現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 D:現状値及び昨年度ともに低下				成果指標評価		3.3		A

※★印は、コロナの影響後、現状値水準まで回復に至っていないため、変則的な評価を行っています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査における「満足度」は相対的に高く、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は下位に位置している。改善度は比較的低いが、引き続き施策を推進していく必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による影響が徐々に緩和されており、開催回数およびその参加者数ともに昨年度と比較して増加しているが、参加者数はコロナ前の水準ほどには回復していない。</li> <li>・教育大との連携事業については、新型コロナウイルスの影響により中止となった事業もあり、実施数はR3年度とほぼ同数となっている。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても舞台、音楽、伝統文化などの出来る限り幅広いジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、オンライン開催等の趣向を凝らしたアプローチによる集客を図るなど、市民の文化活動の促進と地域文化の振興を図ることができた。</li> <li>・規模の縮小や事業の中止はあったが市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、「歩くスキー教室」等を実施するとともに、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」を行った。また、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会・オリンピック・パラリンピック等出場選手や、強化指定選手等の活動の支援を行った。</li> <li>・教育大との連携事業については、複数年にわたって連携している事業もあり、庁内においても教育大の特色を活かした連携事業についての検討機会が増えた。</li> </ul>
-------	---

現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、市民の生活に潤いをもたらすものであり、優れた芸術文化に触れる機会の提供や情報発信、市民が気軽に活動できるような環境整備などを引き続き行っていく必要がある。</li> <li>・学生の活動がコロナ等の影響で縮小している状況が続いてきた。R5.5月における新型コロナウイルスの法的位置づけの分類変更により、交流や活躍の機会が増加することが見込まれることから、今後も学生活動をサポートすることにより、市内における芸術文化の普及促進や地域と学生との結びつきの強化を図っていく。</li> </ul>
-------	---

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も芸術・文化の鑑賞機会の提供に加え、自主的な文化活動の促進も図っていく。</li> <li>・若年層から高齢層まで幅広い世代を取り込むことのできるアダプテッド・スポーツ事業の再開を検討するとともに、生涯スポーツの振興を目指す。</li> <li>・開庁140年・市制施行80周年・北海道教育大学創立100周年における「いわみざわ芸術文化・スポーツの祭典」を契機として、芸術文化・スポーツの各種イベントを広く発信し、地域の方々が芸術やスポーツに気軽に触れることが出来る機会を提供し、持続的な素地づくりを進めていく。</li> </ul>
--------	---

### 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
教育大学連携事業 【企画室】	(企画推進事業のうち北海道教育大学との連携事業「i-BOX」) 北海道教育大学岩見沢校と連携して、複合駅舎内に市民と学生の活動情報拠点「i-BOX」を設置し、i-BOX及びi-BOX以外での学生や教員による美術展等を開催するとともに、情報発信、「森の岩ギャラリー」の整備支援を行った。 令和4年度 企画展25回 来場者2,671人 (令和3年度 企画展21回 来場者1,851人) (令和2年度 企画展19回 来場者数1,707人)	A	B	B
文化のまちづくり事業 【文化・スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アマチュアバンドの祭典「サウンドエアー」、札幌交響楽団による「まなみーるDEクラシック」など、様々なジャンルの音楽公演など、全部で9事業を実施した。</li> <li>・また、令和元年度より、文学の普及発展を図ることを目的として、氷室冴子青春文学賞に対する支援として補助金交付を行っている。</li> </ul>	B	B	B
健康・スポーツ振興事業 【文化・スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいキッズスポーツ教室(全10回:参加者延べ591人)</li> <li>・全国大会等出場奨励金(個人63人・7団体)。</li> <li>・市民歩け歩け大会(全3回:参加者延べ77人)</li> </ul>	A	B	B
芸術文化・スポーツ交流創出事業 【文化・スポーツ振興課】	市内東部丘陵地域の住民らでつくる市民団体「みる・とーぶプロジェクト」に旧校舎の利活用を委託。美流渡地区の地域特性を活かし、旧美流渡中学校校舎の機能や設備の利活用をすすめ試験的な利用を行った。3回の展覧会と年間を通じたワークショップの開催により「毎月イベントを開催している賑わいのある場所」として周知を図るとともに、地域住民が利用できる場所として体育館と音楽室を開放し、旧校舎の利活用を図った。 【年間入場者数:5,086人】 ※昨年比5.2倍(R3来場者数:960人)	A	B	B
アダプテッド・スポーツ推進事業 【文化・スポーツ振興課】	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、オリンピック・パラリンピックの合宿及びアダプテッド・スポーツの体験イベントが中止となっている。	D	D	D
体育施設管理事業 【文化・スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から運用の「共通予約システム」導入を見据えた、施設の利用時間区分の変更のほか、一部施設の有料化を実施。</li> <li>・指定管理者制度を活用し、施設の効率的かつ効果的な管理運営と利用者のニーズに応じたサービスの向上を図った。</li> </ul>	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価		2.8 C

### 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		R2実績	R3実績	R4実績
1 教育大学連携事業 【企画室】	(企画推進事業のうち教育大学分) i-BOXの運営など、地域に開かれた大学を実現するとともに、市民と学生の交流活動を促進する。	3,860 (0.5人)	2,850 (0.5人)	3,231 (0.5人)
		7,460	6,350	6,781
2 絵画ホール運営事業 【文化・スポーツ振興課】	岩見沢市における美術の振興を図るため、収蔵している松島正幸氏の絵画の常設展示をするとともに、岩見沢市にゆかりのある美術家の作品の収集・保管・展示さらに教育普及活動や企画展示等を行い、将来を見通した特色ある運営に努める。	8,217 (0.0人)	8,390 (0.0人)	10,365 (0.0人)
		8,217	8,390	10,365
3 栗沢工芸館管理事業 【文化・スポーツ振興課】	R4.4.1休止	2,664 (0.2人)	2,727 (0.0人)	1,048 (0.0人)
		4,104	2,727	1,048

4	市民会館文化センター管理事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の文化教養の向上と、市民福祉の増進や教育の振興を図る目的のため、生涯学習活動に対する多様なニーズに対応した活動の場を提供する。	120,610 (0.9人) 127,090	149,433 (0.6人) 153,633	133,453 (0.0人) 133,453
5	野外音楽堂管理事業 【文化・スポーツ振興課】	薫り高い芸術・文化を創造・発信し、市民が芸術文化を享受する地域文化を推進するため、野外音楽堂の施設環境の充実を図り、来場者が快適な環境で芸術文化を享受できるように管理運営を行う。	20,227 (0.0人) 20,227	20,474 (0.0人) 20,474	20,699 (0.0人) 20,699
6	地域文化振興事業 【文化・スポーツ振興課】	個性豊かな市民文化の創造に向けて、自主的な文化活動が多彩に繰り広げられ、身近に芸術・文化にふれあう機会を拡大するとともに、歴史や地域性を生かしたまちづくりを進め、うるおいとやすらぎのある文化性の高いまちの環境づくりを推進する。	3,627 (1.0人) 10,827	3,824 (1.0人) 10,824	4,537 (1.0人) 11,637
7	文化のまちづくり事業 【文化・スポーツ振興課】	野外音楽堂や市民会館・文化センターなどを拠点に、舞台、音楽、伝統文化などの多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図る。	8,297 (0.5人) 11,897	9,100 (1.0人) 16,100	9,700 (1.0人) 16,800
8	文化財・文化遺産保存管理事業 【文化・スポーツ振興課】	文化財は、地域の歴史や文化等を正しく理解する上で欠くことのできないものであり、文化の向上発展のため、適切な保存を行う。	3,974 (0.5人) 7,574	3,949 (1.0人) 10,949	6,350 (1.0人) 13,450
9	健康・スポーツ振興事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るとともに、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。	7,634 (1.0人) 14,834	11,368 (1.0人) 18,368	12,608 (1.0人) 19,708
10	アダプテッド・スポーツ推進事業 【文化・スポーツ振興課】	障がい者スポーツ等(アダプテッド・スポーツ)に対する理解と関心を高め、パラスポーツに親しむことを目的としてアダスポ岩見沢を開催するほか、岩見沢市内でパラリンピック出場団体等の競技団体の受け入れを実施する。	72 (1.0人) 7,272	77 (1.0人) 7,077	0 (1.0人) 7,100
11	体育施設管理事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の健康、体カづくりの普及振興を図るため施設の維持管理を行う。	2,456 (0.5人) 6,056	2,454 (0.5人) 5,954	2,699 (0.5人) 6,249
12	スポーツセンター・岩見沢トレーニングセンター運営事業 【文化・スポーツ振興課】	・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、スポーツセンターの維持管理を行う。 ・市民の基礎体力向上と健康増進を図るための施設であるトレーニングセンターの維持管理を行う。	48,446 (0.0人) 48,446	46,632 (0.0人) 46,632	46,147 (0.0人) 46,147
13	東山・岡山地区スポーツ施設運営事業 【文化・スポーツ振興課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、東山・岡山地区スポーツ施設の維持管理を行う。	35,298 (0.0人) 35,298	104,474 (0.0人) 104,474	37,287 (0.0人) 37,287
14	鉄北地区スポーツ施設運営事業 【文化・スポーツ振興課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、総合体育館の維持管理を行う。	46,903 (0.0人) 46,903	299,328 (0.0人) 299,328	37,631 (0.0人) 37,631
15	温水プール・北村プール運営事業 【文化・スポーツ振興課】	年間を通じて利用可能な温水プールを管理運営する。手軽なスポーツである水泳を通じ市民の健康づくりを支援する環境を提供する。	38,760 (0.0人) 38,760	44,797 (0.0人) 44,797	38,219 (0.0人) 38,219
16	北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	71,815 (0.9人) 78,295	21,378 (0.0人) 21,378	18,888 (0.0人) 18,888
17	北村トレーニングセンター運営事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の健康づくり及び協議スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	10,417 (0.0人) 10,417	11,661 (0.0人) 11,661	10,237 (0.0人) 10,237
18	栗沢スポーツ公園運営事業 【文化・スポーツ振興課】	市民の心身の健全な発達及び体育の普及・振興を図り、快適なスポーツ環境を提供する。	27,889 (0.0人) 27,889	29,513 (0.0人) 29,513	28,438 (0.0人) 28,438
19	芸術文化・スポーツ交流創出事業 【生涯学習推進課】	旧美流渡中学校校舎の活用について試験利用を行うとともに、利用結果の検証を通じ、旧美流渡地区の地域特性である芸術文化・スポーツを活かした新たな交流拠点の創出を目指す。			3,004 (0.0人) 3,004

【外部評価意見】	
----------	--